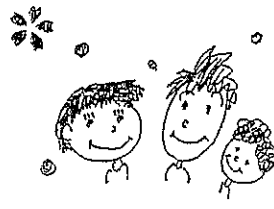


2012.11.1(木)

第191号

編集責任: 坂本

よりそう



毛布の女神

遠野に寒さ到来。昨日、物資担当の菅野さん運転のトラックで、毛布を20枚余り物資倉庫から運んで来ました。

さて、私が10月30日夜「まごころ」に来たとき、受付は翌朝にして寝場所を作ろうとしました。

ところが、毛布が足りません。火曜日だから、職員は浄化センターで会議中。僕はその会議を眺めながら、毛布なしの寝袋だけで寝ようか。それとも今から民宿をさがそうか。

大原三千院



菅野さんの山ときれいな色づいてきましたね。上は、大原三千院(京都)の美しい紅葉。カラー写真ではないのは、残念です。

「こんな思案のしどろもどろ」と悩んでました。そうしているとき会議から帰ってきた菅野さんが、毛布を2枚持ってきてくれました。うれしいうれしいうれすねー！ マエに地獄で天女に会ったような気持ちになりました。あとで聞くと、その裏に植前さん佐々木さん森さん等々居たから、たそうです。

陸前高田担当のスタッフ小林さんから、ミーティングで、矢作町^{ヤハギ}生田^{オイダ}地区の話が聞かされた。そこは自然豊かな場所でも、森など多産する地区である。そのミーティングで、ユニークな子供の活動場所を作りたいと思、ている。

また、こんな話もありました。陸前高田の被災地の仮設住宅を学校の校庭に作、ている。平成27、28年ごろまで

子供たちの遊び場がない。(仮設グラウンド)

高田中は何年か後には、うめ立ての工場の跡地となる、整備しなくてはならない。

整備の是非が議論される。

校長は、その何年間で子供たちの遊ぶ場所がないことになる。

とは問題だ。まずグラウンドを作、てほしいという。

仮設住宅の方も、自分たちも子供たちのグラウンドを奪、ていこうと気がかかっている。

そんな状況で自分たち(「まごころ」)は何ができるか。グラウンド整備は行政がやる。子供たちの居場所、遊ぶ場所を提供を、まず他の日曜(14)陸前高田の原台山に子供たちと登り、そこを企画している。助言・アドバイスをお願いし、ます。

※ / ()ホリスティックミーティングはPM15:30~@体育館

子供たちの遊び場

まごころ種 募集

くわしくはHPへ

10/8 活動人数24 宿泊人数35

曇夜雨降水確率90%

新着の気温14℃

最低9℃